

令和7年度のコミュニティ・スクールの取組もまとめの時期となりました。2月18日(水)には、第3回学校運営協議会を開催しました。今回の学校運営協議会では、「本年度の取組の評価」及び「来年度の学校運営に関する基本的な方針の仮承認」を行いました。



★ 本年度の取組の評価 (委員の評価) ★ (学校自己評価システムシートから抜粋)

【個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による自立した学習者の育成】

- 「思考力・判断力・表現力等」の向上は素晴らしい。市の平均値と比較するとどの程度なのか興味がある。次年度は、「知識・技能」もあわせて高める取組を進めること。
- 生成AIですぐに答えが出る時代だが、リアルな学びを大切する取組も進めることを期待している。

【生徒指導体制、教育相談体制の充実による児童のよさを伸ばす教育の推進】

- いじめの認知件数が増えることはよいと思う。些細なことでもこれはいじめだと思ったら積極的に認知して早期発見、早期解決に尽力すること。
- 児童に「こんなこともいじめなのか」と考えさせたり、いじめ認知件数を児童に知らせたりすることで、いじめ防止の意識を高めること。

【地域とともに児童の健やかな成長と安全を見守る持続可能なコミュニティ・スクールの推進】

- あいさつは、人とのつながりをつくる上で大切である。あいさつを通して、お互いに声をかけやすい関係となり、そこから協働する体制が生まれる。引き続き児童主体のあいさつの啓発を続けること。
- 第2回の学校運営協議会で出た「落ち葉清掃」をすぐに実行したことは対応が早くて素晴らしい。

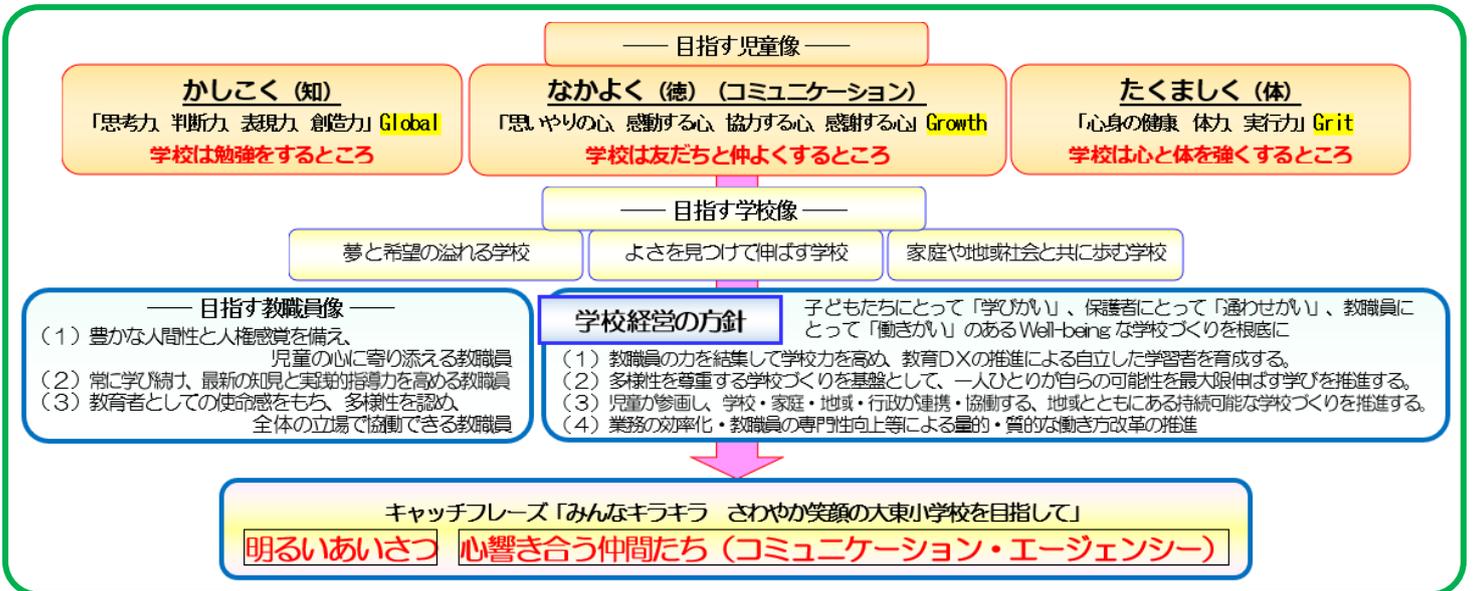
【教育環境の整備による安心・安全な学校づくりの推進】

- 夏は学校が高温になり熱中症が心配である。児童の健康を守る環境づくりに取り組むこと。
- 交通安全については、例えば、自動車の運転者の立場で考えさせるなど、工夫した取組を期待している。

【誰もが働きやすく、一人ひとりが力を発揮することができる教職員集団の醸成】

- ICTを使えばよいというものではない。児童が効果的に活用できているか大切である。児童の学びが深まっているかを大切にしながら、今後も研究、研修を進め、教員の指導力を高めること。

★ 来年度の学校運営に関する基本的な方針の仮承認 ★ (令和8年度グランドデザイン(案)から抜粋)



そして、恒例となった代表委員会の大東っ子の参加。今回は、委員の皆様との対話です。3グループに分かれて行いました。テーマは「あいさつ」「通学路の安全」です。現状や課題、提案などを発表した後、意見交換です。質問に答えたり、アドバイスをいただいたりしました。終了後に感想を聞くと、「はじめは緊張したけど、大人の皆さんが真剣に話を聞いてくれてうれしかった。」「自分たちでは気付かない目線でアドバイスをしてくれた。改善点があった。」「あいさつをしてコミュニケーションをとると、仲良くなれて思ったことを口に出しやすくなる。代表委員で話し合っ、地域の方と一緒にできることを実行したい。」などと、得るものが多い対話の時間となりました。今後の代表委員の活動、地域の皆様とのコラボが楽しみです。



*

令和8年度の第1回学校運営協議会では、「目指す子ども像」の実現に向けて、学校運営に関する基本的な方針の承認をいただき、学校、家庭、地域の立場で取り組むこと等を話し合います。委員の皆様、保護者、地域の皆様、1年間、コミュニティ・スクールの取組に御理解と御協力をいただきましてありがとうございました。